

学校概要

創立 72 周年	学校長 諏訪部真史	副校長 山田美穂子	学期 3 学期制	児童・生徒数 774 人
学級数 一般級: 21 個別支援級: 3		主な関係校: 谷本小学校・つつじが丘小学校・藤が丘小学校・さつきが丘小学校		

学校教育目標

たくましく、生きる力を育むために

- ・自ら学習に意欲的に取り組む姿勢と、確かな学力を育てます。【知】
- ・豊かなかかわり合いを通して社会性を育み、思いやりの心を育てます。【徳】【公】
- ・自他の生命を尊重し、心身の健康を維持・向上していく力を育てます。【体】【開】

学校の特徴

創立70年を経過した本校は、かつて純農村地域であったが、東急田園都市線の延長により、宅地化が急速に進み、古くからの住民と新住民の人口比がほぼ拮抗する住宅街へと変貌している。保護者は高学歴で生活水準も高く、子どもの教育に対する意識・関心はともに高い。特に進路指導に関しては、塾への信頼が強く、敏感であり、学校への要望も大きい。

学校経営中期取組目標

- 生徒一人ひとりの学習意欲を高め、確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む「生き方の教育」を推進します。
- 人権尊重を基盤に置き、豊かなかかわり合いを通して社会性を育み、思いやりの心を育てます。
- 教職員が相互に啓発・連携・協働する活気あふれる学校運営に取り組みます。

小中一貫教育の取組

谷本中 ブロック: 谷本小学校、つつじが丘小学校、さつきが丘小学校、藤が丘小学校、谷本中学校

9年間で育てる子ども像	「笑顔で挨拶できる子～自分を認め、相手を認め～」
自校の具体的取組	○合同授業研究会 5月31日(木)藤が丘小学校 授業公開・研究討議、9月7日(金)谷本中学校 授業公開・研究討議 ○合同領域研究会 8月23日(木)谷本中学校 各領域ごとの研究討議 ○児童生徒交流会 11月1日(木)2日(金) ①中学校生活の説明②体験授業③部活動体験 ○小学校授業参観 2月 中学校の教諭が小学校を訪れ、小学生の様子を理解する。○管理職・専任・養護教諭・事務職の連携

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	○確かな学力の定着を図る	「確かな学力」の定着を図るため、授業時間の確保や計画的な学習相談を行います。個々に寄り添った支援方法を工夫していきます。 ・数学1年TT、2年少人数指導、英語1年少人数を実施し、基礎・基本の確実な定着を図り確かな学力を身につけられるようにしています。単元や時期により習熟度別指導にも取り組みます。
担当 学習指導部		
豊かな心	○豊かな心の育成を図る ○人権感覚を磨き、人の痛みがわかる学校づくり ○道徳教育の推進	・いじめや暴力行為をなくすため、人権教育実践推進校並びに道徳授業力向上推進校として研究を深め、自他ともに生命を尊重し、個々の人権感覚を高める啓発と地域貢献への姿勢を育成していきます。
担当 人権道徳係		
健やかな体	○健康増進 ○健全な精神	・健やかな心身の育成と体力の向上を図るため、体育的、文化的活動の充実を図っています。 ・生徒自らが心身の健康や体力の維持・増進を心がけ、それに向けての実践意欲や振り返る姿勢を育成しています。
担当 保健安全指導部		
特別支援教育	○支援を必要とする生徒が、安心して学べる環境作り	・支援を必要とする生徒の情報収集をもとに人的、環境整備を充実させ教職員の共通理解を図っています。 ・保護者及び本人の思いに立ち、支援計画を作成し、適切な支援を目指していきます。
担当 特別支援教育委員会		
生徒指導	○学校を正義の場に ○教育相談の充実	・教育相談を充実させ、生徒・保護者の思いに立った支援を心がけ、いじめ等の未然防止に全職員で取り組みます。 ・生徒指導に対して、情報収集や教職員の連携を大切に、迅速な対応を行えるようにしていきます。
担当 生活指導部		
キャリア教育	○社会を肯定的に受け入れ、社会の一員としての自覚を養う	・地域の方々の協力のもと、1年で出前授業、2年で職場体験学習、3年で自分の今後の進路を考える進路学習を実施し、学年ごとに系統性をもった指導を行っていきます。
担当 総合係		
地域連携	○開かれた学校の推進と共働	・地区懇談会の運営、推進に保護者と連携しより意義のあるものにしていきます。 ・地域行事への参加を計画的に行うよう、情報収集に心がけ多くの生徒職員が関わっていきます。 ・学校運営協議会を設置し、年に3回実施し、学校運営に生かして いきます。
担当 学家地連携協議会		
いじめへの対応	○生徒一人ひとりが受け入れられていると実感できる受容的な環境をつくる。 また、全ての生徒の「教育を受ける権利」を保障するための支援を確実に実施する。	・「子どもの社会的スキル横浜プログラム」の実践推進。 ・生徒一人ひとりの状況についての把握と対応を要する場合で適切な措置と相談や報告の徹底。 ・挨拶を徹底する中で、生徒間や生徒と教師・保護者のコミュニケーションの醸成
担当 いじめ防止対策委員会		
人材育成・組織運営	○若い世代が積極的に学校経営に参画	・教職員の指導力向上を目指し、さまざまな教育課題に対して組織的に対応することにより、教職員間の連携を深め、校内メンターチームによる研修を充実させ、指導助言していきます。 ・組織の効果的運営のため、ミドルリーダーを育成し、主幹教諭と連携をして教職員育成に繋がる研修を行い意識向上を図っていきます。
担当 教務係		